

都市再生整備計画

もとみやしがいちちくだいき
本宮市街地地区(第2期)

ふくしまもとみやし
福島県本宮市

平成28年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福島県	市町村名	もとみやし 本宮市	地区名	もとみやしがらち 本宮市街地地区(第2期)	面積	193 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 平成 32 年度				

大目標(案) 子どもからお年寄りまで安全・安心・快適を実感できる、東西に活力あるまちづくり

- 目標1 本宮駅周辺環境の利便性の向上による、東西交流の活性化
- 目標2 憩い空間の創出を目指したまちづくりによる、安全・安心・快適性の向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ①本宮市は福島県のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝であった。現在も東北自動車道と磐越自動車道の結節点として東北地方南部の広域交通の重要な役割を担っており、近年は「福島のへそのまち」を新たなアピールポイントとして県内外に発信している。
- ②阿武隈川が流れる本宮市はこれまで度々水害に見舞われてきたため、平成19年に策定された「阿武隈川水系河川整備事業(大臣管理区間)」において、阿武隈川本宮左岸地区は要整備区間として位置づけられている。平成20年度から事業が実施されており、国や県、市等とともに地域住民を交えた懇談会を構成し、まちづくりと一体となった計画検討を重ねながら進められている。
- ③平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、本市においても甚大な被害を受けた。また、東京電力福島第1原子力発電所の事故による原子力災害は、市民の健康被害への懸念と不安を増大させるとともに、各産業が風評被害を受け地域経済が衰退するなど、かつて経験のない事態となっている。本市は平成23年8月に「特定被災地方公共団体」の指定を受けたことにより、国の財政支援を有効に活用し、早期復興に向けた取り組みを充実させることを目的として、平成24年1月に【本宮市震災・原子力災害復興計画】を策定し、改訂を重ねながら除染を含めた事業を進めている。
- ④本宮地域(旧本宮町)の市街地構造は、本宮駅を中心とした北部の昔からの市街地と、インターチェンジ周辺の工業系市街地に大きく二分されている。本宮駅を中心とした中心市街地においては、台風による洪水被害を受けての激甚災害対策特別緊急事業や街区再編事業のほか、【旧本宮町中心市街地活性化基本計画(H11)】【旧本宮町まちづくり基本計画】【旧本宮町街なか再生事業計画(H11)】【本宮駅周辺まちづくり基本構想】等を策定し、まちづくりを進めてきた。
- ⑤平成19年度から平成23年度を事業年度として【本宮市街地地区(446.9ha)】の都市再生整備計画事業を策定し、本宮駅東口駅前広場や踏切改良、歩道整備、交流拠点施設(「えぼか」)や防災センター、広範囲での水道管の布設等の整備を行い、住民の利便性や快適性、交流機能が向上した。
- ⑥本計画区域である「本宮駅周辺市街地地区」は、第1期の本宮市市街地地区の中心地区であり、駅周辺の商店街及び市役所等の公共公益施設が立地するとともに、阿武隈川の堤防沿いに連担する町家形態の住宅街が含まれる地区である。しかしながら、国道4号やJR東北本線、阿武隈川により市街地が東西に分断され、本宮駅周辺へのアクセス環境も整っていないことから、駅周辺への求心力の低下が懸念されている。
- ⑦また、本市の人口は震災の影響もあり減少傾向がみられ、今後とも人口減少とともに少子高齢化が進行すると予測されている。将来にわたり活気あふれるまちであり続けるため、交通の要衝であり「福島のへそのまち」としての地の利を生かし、定住促進につながる住みよいまちづくりを進めていくことは急務であり、駅周辺の利便性・快適性の向上やにぎわい創出は、最重要課題の一つとなっている。
- ⑧【国土利用計画及び都市計画マスタープラン策定に係るアンケート調査(H24)】結果では、最も取り組むべき景観整備として「本宮駅周辺等市の顔となる地区」の回答率が高く、駅西口からの動線確保に対する要望が多く挙げられた。また、【本宮市市街地地区都市再生整備計画の事後評価におけるアンケート調査(H25)】結果においても、事業の高い満足度は得られたものの、東西自由通路や西口広場、駅舎の改修、東西を結ぶ道路整備、図書館等の文化施設の改修について強く要望される結果となった。
- ⑨以上のような【各種計画における賑わい再生の検討】、【都市再生整備計画事業】、「本宮駅周辺にぎわい創出検討委員会」による【本宮駅周辺にぎわいづくり提言書(H24)】などを踏まえ、平成25年度に学識経験者や各種団体関係者、地域住民、公募委員により組織される、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画検討委員会」を設置し、駅周辺の東西アクセス道路や都市基盤整備の基本方針等に関する検討を行った。委員会では、国や県、JR仙台支社にもオブザーバーとしての専門的なアドバイスを受けながら、「本宮駅周辺東西アクセス整備計画策定に関する報告書」としてまとめ、市に提出した。市では、その報告書を基に、平成26年4月に「本宮駅周辺東西アクセス整備計画書」を策定し、公表している。

課題

- 第1期都市再生整備計画(H19～H23)によって、阿武隈川を挟んだ東西地区の健康福祉のまちづくりの創出、本宮駅東口の利便性や快適性・安全性の向上、防災機能の向上が図られた。
- 第2期都市再生整備計画(H28～H32)においては、主に本宮駅周辺および築堤事業が進む阿武隈川の左岸地区において、以下の課題の解決を目指すことにより、東西交流の活性化と安全・安心・快適性の向上へと波及させる。
- ①鉄道によって分断された本宮駅の東西地区について、駅利用者を含めた人の行き来の利便性を向上させる必要がある。
 - ②駅周辺の交流人口の増加を図るため、「市の顔」となるような、魅力ある交通施設や拠点施設の整備が必要である。
 - ③国が実施している阿武隈川本堤改修事業に併せ、親水・回遊性等の相乗効果が現れるような事業展開を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ①福島県総合計画【ふくしま新生プラン】において、本宮市は福島市や二本松市等とともに「県北地域」に位置づけられており、主要施策のひとつに「災害に強く、安全で安心な生活を支える基盤の整備」として交通体系の維持や再構築、集中豪雨への対策等が挙げられている。
- ②【本宮市第1次総合計画 後期基本計画】の基本目標の1つとして、「安全・安心な環境のまちづくり」が掲げられており、「都市基盤の形成」、「快適な住環境の形成」、「消防・防犯体制の充実」などが基本施策に挙げられている。また、重点プロジェクトとして本計画区域内の本宮駅東西自由通路・西口広場を含めた駅環境整備等、阿武隈川築堤事業を含めた総合的な事業を展開し、「住みよいまちづくり」「災害に強いまちづくり」を進めることとしている。
- ③【本宮市震災・原子力災害復興計画】において、区域内の本宮駅及び周辺の商業施設の整備により地域経済の拠点づくりを進めることとされている。
- ④【福島県区域マスタープラン】においては、本宮駅周辺を地域拠点と位置づけ、既存市街地の再編について重点的に取り組んでいき、中心市街地における居住人口の流入・定着に向けた住環境の整備を進めることで、居住の場としての魅力向上とにぎわいの回復を図ることとされている。
- ⑤【本宮市都市計画マスタープラン】において、本宮地区は、都市拠点として本市の元気を発信していく地区として、「本宮駅を中心とした人が集まる快適交流基盤づくり」、「みんなが暮らしやすく、活力と魅力があふれる街なかづくり」、「暮らしと笑顔を守る安全・安心な防災中心地域づくり」、「阿武隈川の水辺や公園の緑を生かしたのびのび環境づくり」という方針を掲げている。こうした方針を基に、本宮駅東西自由通路等整備による「本宮駅周辺アクセス環境の向上」や駅周辺を活用した交流スペースの確保による「誰もが暮らしやすい空間作り」、散策路やポケットパーク整備による「阿武隈川や安達太良川の水辺と親しめる環境整備」などが主な施策として掲げている。
- ⑥【中心市街地活性化基本計画】において、中心市街地の再構築と街のいきいきとした新しい顔を取り戻す地区として位置づけられている区域が含まれており、平成12年3月に本宮商工会が本宮町TMO構想を策定し、現在は市が認定した(株)Mot.Comもとみやが様々なまちづくり活動を展開している。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	
歩行者交通量	人/12h	地区内踏切及び本宮駅自由通路の歩行者数	780	H26	860	H32
市街地の安全・安心・快適性	%	アンケート調査(満足度)	86.6	H26	90.0	H32
本宮駅東口接続道路の渋滞長	m	交通渋滞時の本宮駅東口接続道路の渋滞長	375	H27	300	H32

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>① 本宮駅周辺施設の利便性の向上による、東西交流の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道により分断された市街地のアクセス環境を向上し、東西交流の充実とにぎわい創出を図るため、本宮駅東西自由通路や西口広場、駅舎を整備する。 ・駅周辺の求心力を高めるため、市民の交流や憩いの場としての機能を持たせた地域交流センターを駅舎に近接して整備する。 ・本宮駅周辺や駅利用者などの利便性の向上を図るため、利用しやすい駐車場・駐輪場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業 <ol style="list-style-type: none"> ①本宮駅東西自由通路(道路) ②本宮駅西口広場(道路) ③本宮駅周辺駐車場(地域生活基盤施設) ④本宮駅東西自由通路(EV多機能トイレ)(高質空間形成施設) ⑤本宮駅西口広場(シェルター)(高質空間形成施設) ⑥本宮駅東西自由通路(観光情報スペース・西口地域交流スペース)(高次都市施設) ⑦地域交流センター(高次都市施設) ●提案事業 <ol style="list-style-type: none"> ①地域交流センター(地域創造支援事業) ●関連事業 <ol style="list-style-type: none"> ①市道万世・中條線道路改良(市) ②市道下町・小幡線道路改良(市) ③都市計画道路本宮停車場中條線(県道本宮停車場線)(県) ④住宅団地造成(民間)
<p>② 憩い空間の創出を目指したまちづくりによる、安全・安心・快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地の更なる安全・安心を図るため、本宮駅に併設する交流センターに、災害時の一時避難所となるような機能を整備する。 ・阿武隈川築堤事業により発生する残地には、子どもをはじめとする市民が憩うことができるようなポケットパークを整備する。 ・周辺住民の利便性を確保しながら、奥州街道として栄えた歴史的な意匠が感じられるような道路整備を行う。 ・回遊性の向上等を目的として、地区内の主要地点に案内板を整備する。 ・夜間における安全かつ快適な回遊性を確保するために、阿武隈川左岸築堤事業にあわせた防犯灯を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業 <ol style="list-style-type: none"> ①地域交流センター(高次都市施設) ②東町地内ポケットパーク(地域生活基盤施設) ③旧奥州街道(市道太郎丸4号線)(高質空間形成施設) ④情報板設置(地域生活基盤施設) ●提案事業 <ol style="list-style-type: none"> ①防犯灯設置(太郎丸地内～鳴瀬地内防犯灯)(地域創造支援事業) ●関連事業 <ol style="list-style-type: none"> ①直轄河川都市基盤整備事業(阿武隈川左岸築堤)(直轄) ②本宮地区かわまちづくり(散策路等)(直轄) ③上ノ橋先線道路新設(市) ④市道万世・中條線道路改良(市) ⑤主要地方道二本松・金屋線道路改良(上ノ橋架替)(県) ⑥主要地方道本宮・三春線整備(県)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交付期間中の計画の管理について(庁内調整、住民参加プロセス) <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、庁内内部会を継続的に開催する。 ・都市再生整備計画や計画概要等を市の広報誌やホームページで公開し、市民からメール等で意見の聴取を行うこととする。 ○ 継続的なまちづくり活動(モニタリング・持続的なまちづくり体制) <ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後も引き続き、将来ビジョンの達成に向け、中・長期の目標達成を目指し、継続した都市再生整備計画事業の活用も含め検討を行うものとする。 ・なお、その検討にあたっては、引き続き庁内部会や市民を交えた委員会等を存続させていくこととする。 ・商工会や観光協会、まちづくり会社等とも連携しながら、都市再生整備計画事業の効果を最大限に高めるようなまちづくり活動を展開していく。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,773.9	交付限度額	1,109.5	国費率	0.4
---------	---------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費		
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	うち官負担分	うち民負担分	
															開始年度
道路		本宮駅東西自由通路(道路)	市	直	L=60.0m	H25	H31	H28	H31	1,346.0	1,346.0	1,275.0	71.0	1,275.0	
		本宮駅西口広場	市	直	A=2500㎡	H26	H32	H28	H32	363.3	357.7	357.7	0.0	357.7	
公園															
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		東町地内ポケットパーク	市	直	A=287㎡	H28	H29	H28	H29	11.0	11.0	11.0	0.0	11.0	
		本宮駅周辺駐車場	市	直	A=2000㎡	H32	H32	H32	H32	20.0	5.0	5.0	0.0	5.0	
		情報板設置	市	直	15基	H32	H32	H32	H32	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	
高質空間形成施設		本宮駅東西自由通路(EV、多機能トイレ)	市	直	(2基、2箇所)	H25	H31	H28	H31	339.6	339.6	324.6	15.0	324.6	
		本宮駅西口広場(シェルター)	市	直	L=51.0m	H26	H32	H28	H32	76.0	76.0	76.0	0.0	76.0	
		旧奥州街道(市道太郎丸4号線)	市	直	L=85.0m	H29	H30	H29	H30	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	
高次都市施設		本宮駅東西自由通路(観光情報スペース等)	市	直	A=146㎡	H25	H31	H28	H31	265.1	265.1	251.1	14.0	251.1	
		地域交流センター	市	直	床面積A=647㎡	H27	H30	H28	H30	326.3	322.3	322.3	0.0	322.3	
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										2,755.3	2,730.7	2,630.7	100.0	2,630.7	

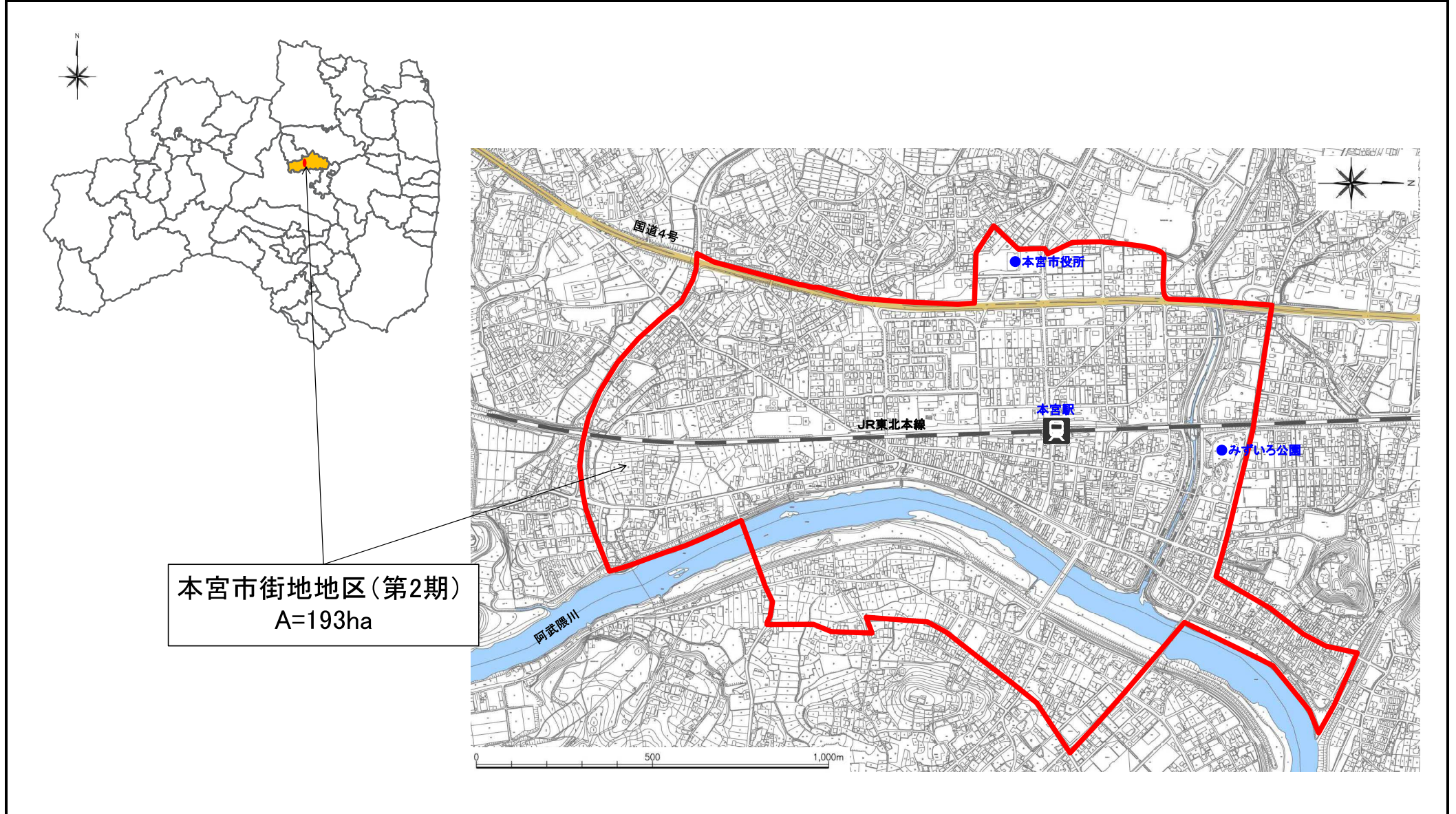
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	うち官負担分	うち民負担分
地域創造 支援事業	地域交流センター 防犯灯	市	直	床面積A=281㎡	H27	H30	H28	H30	136.2	135.2	135.2	0.0	135.2	
		市	直	4基	H29	H29	H29	H29	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	
事業活用 調査	事後評価	市	直	—	H32	H32	H32	H32	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	
まちづくり活 動推進事業														
合計										144.2	143.2	143.2	0.0	143.2

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
市道万世・中條線道路改良	本宮市本宮字中條地内外	本宮市	国土交通省	L=85.0m		○			H25	H30	232.0
市道下町・小幡線道路改良	本宮市本宮字千代田地内	本宮市	国土交通省	L=111.0m		○			H25	H28	45.0
上ノ橋先線道路新設	本宮市高木字赤木地内	本宮市	国土交通省	L=600.0m		○			H26	H31	574.5
直轄河川都市基盤整備(阿武隈川左岸築堤事業)	一級河川阿武隈川	国土交通省	国土交通省	L=2,200.0m	○				H19	H31	10,000.0
本宮地区かわまちづくり	一級河川阿武隈川	国土交通省	国土交通省	L=1,600.0m	○				H27	H31	440.0
(都)本宮停車場中條線街路事業	本宮市本宮字南町裡地内	福島県	国土交通省	L=93.0m		○			H25	H31	1,000.0
(主)本宮・三春線整備事業(合併支援道路)	本宮市高木字舟場地内外	福島県	国土交通省	L=1,500.0m			○		H21	H32	1,700.0
(主)二本松・金屋線改良事業(上ノ橋架替)	本宮市仁井田字吹上地内外	福島県	国土交通省	L=670.0m			○		H18	H31	2,000.0
住宅団地造成事業	本宮市本宮字万世地内外	民間		61区画					H25	H28	未定
合計											15,991.5

合計(A+B) 2,773.9

都市再生整備計画の区域

<p>もとみやしが いちちく だい き ふくしまけんもとみやし 本宮市街地地区 第2期(福島県本宮市)</p>	<p>面積</p>	<p>193 ha</p>	<p>区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本宮市本宮字万世の一部、荒町の一部、東町の一部、下町、中條、上町、鳴瀬、兼谷平の一部、 ○本宮市仁井田の一部、○本宮市高木字高木の一部、舟場の一部、辻、辻向の一部、百目木、長瀬、原の一部、猫田の一部、諏訪の一部、
---	-----------	---------------	--



本宮市街地地区(第2期)
 A=193ha

本宮市街地地区(第2期)(福島県本宮市)整備方針概要図

目標	子どもからお年寄りまで安全・安心を実感できる、東西に活力あるまちづくり ①本宮駅周辺施設の利便性の向上による、東西交流の活性化 ②憩い空間の創出を目指したまちづくりによる、安全・安心・快適性の向上	代表的な指標	歩行者交通量(人/日)		780	(26年度)	→	860	(32年度)
			市街地の安全・安心・快適性(%)		86.6	(26年度)	→	90.0	(32年度)
			本宮駅東口接続道路の渋滞長(m)		375	(27年度)	→	300	(32年度)

